

音楽と私

CSE（千葉シニア）のチェロ・藤山光正さんに音楽との出会いを語ってもらいました。

以前は、音楽というものに関心がありませんでした。育った環境も音楽とは全く無縁であり、クラシック音楽や楽器演奏など全く興味がありませんでした。

ところが、50を過ぎてからクラシック音楽が好きになり、その後チェロを始め、今ではCSEの一員に加えていただき皆さんと一緒に合奏を楽しんでいます。

クラシック音楽との出会い

一人の女性の影響でクラシック音楽が好きになりました。職場にアマチュアオーケストラでホルンを吹いている女子社員がいました。彼女は金曜日になると会社に楽器を持ってきて、仕事帰りにオーケストラの練習に参加していました。

とてもよく働き女子社員の中心的存在でしたので周りの理解もあり、私も当日は彼女にはなるべく残業をさせないように配慮してあげました。そのこともあったのか、彼女は年2回の定期演奏会には必ず私を招待してくれました。

私に音楽的素養はなく、ましてやクラシックはどこか難解で敷居が高いイメージがあったので最初の頃は断っていました。しかし、一度は行ってあげた方が良いのではとの周りの忠告を受け、事前に高島ちさ子さんの「クラシック入門」で楽曲やマナー等について勉強のうえ演奏会へ足を運びました。ところが、生まれて初めて聴くクラシックはとても退屈で、また日頃の蓄積した疲労をクラシックの美しいメロディが癒してくれ、更に休憩時間に飲んだワインが効いてとても気持ち良くなり殆ど寝てしまいました。

その後何回か聴きに行き、ポピュラーな交響曲の演奏やプログラムで曲が作られた時代背景等の解説を読んでいるうちに次第にクラシックが面白くなってきたのです。



チェロを始めたきっかけ

55才でチェロを始めました。所謂、レイトスターターです。ヤマハの「大人の音楽教室」のチラシを目にしたのです。クラシック音楽に少し興味が湧いてきた頃で、また定年になった時のために何か別の趣味もあった方がいいと考えていました。

「何故、チェロにしたのですか？」と聞かれることがありますが、明確なビジョンがあったわけではなく、偶々体験レッスンを受けたのがきっかけでした。「あと一人揃えばグループレッスンをスタートできるのですが」とヤマハのセールストークに乗せられたのかも知れませんが、「楽譜が読めなくても大丈夫」との触れ込みでしたが、いざレッスンが始まると、本当に楽譜が読めないのは私一人で少し劣等感を味わったものです。

CSEに入団して

60才で定年となり、その4ヶ月後にCSEに入団しました。年金受給年齢の引き上げに伴う継続雇用制度を利用して引き続き働くことにしましたが、週4日勤務で都合よくCSE練習日の月曜日が休みになったのです。

入団した頃は、5ヶ月後の定期演奏会に向けて難曲のエグモントほか10数曲を練習中で、暫くキャッチアップするのが大変でした。でもすぐに慣れて今では毎週月曜日の練習が待ち遠しいくらいです。

CSEはクラシック一辺倒ではなく映画音楽、タンゴ、歌謡曲等いろいろなジャンルの曲を演奏できるので楽しいです。音楽を通じてCSEの皆さんと出会えたことに感謝しています。